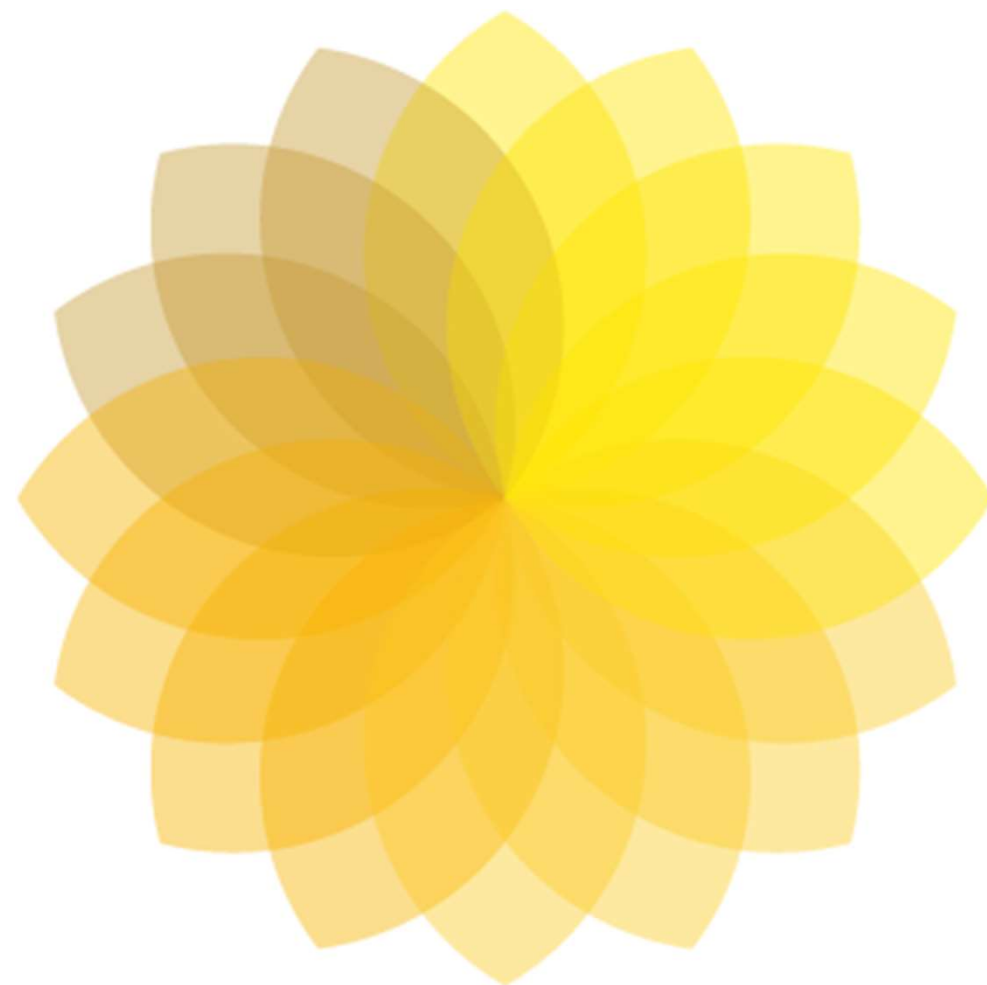


# 2020年3月期 決算説明会資料

2020年6月9日

代表取締役会長兼社長  
坂本 隆司



- 1. 2020年3月期 連結決算のご説明 P.3**
- 2. 2021年3月期 業績見込みについて P.18**

# 1. 2020年3月期 連結決算のご説明

増収減益：売上高は過去最高、機能材料セグメントが顕著に伸長

単位：百万円

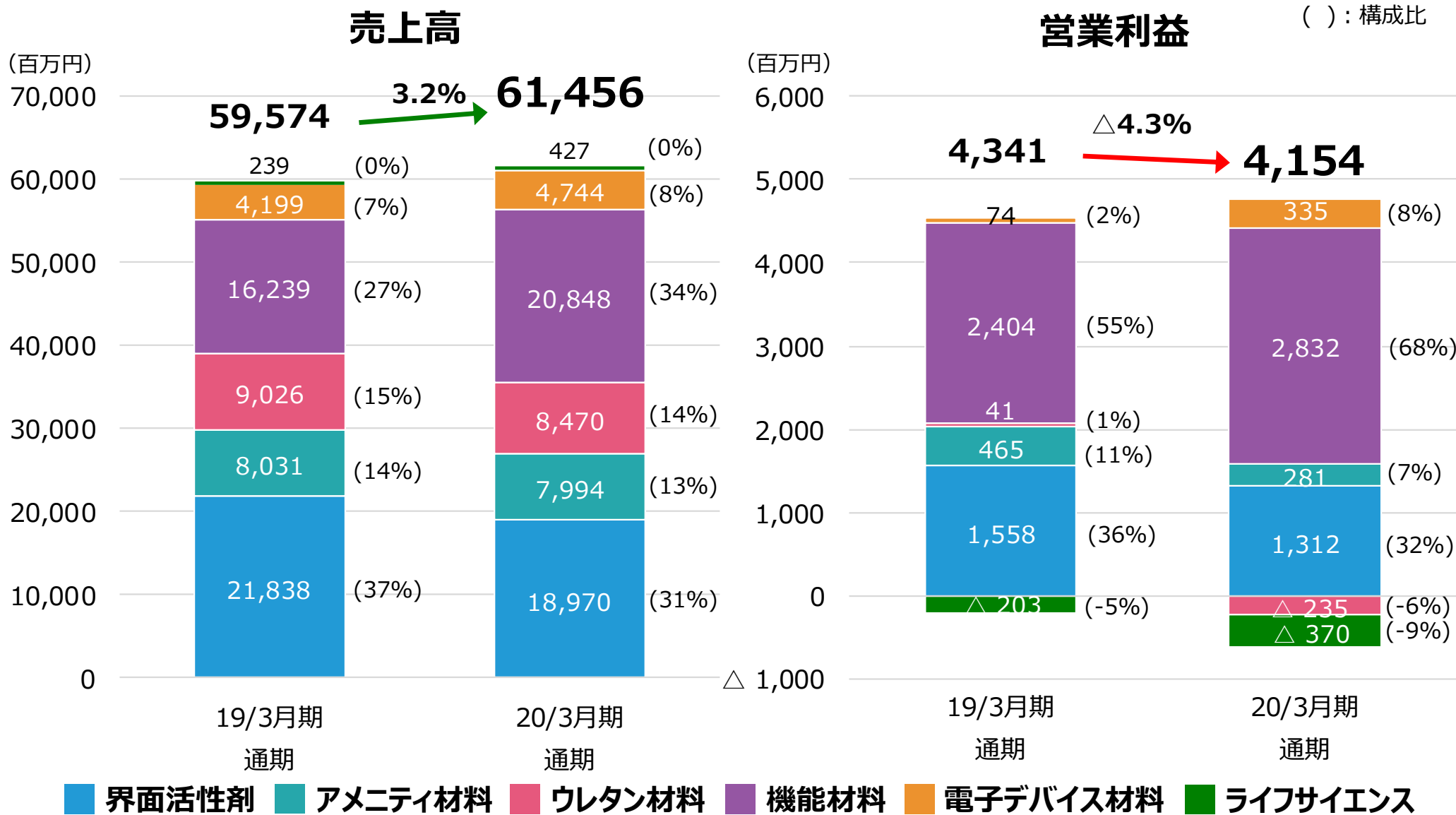
	19/3月期	20/3月期	前期比増減	
			金額	増減率
売上高	59,574	61,456	1,882	3.2%
営業利益	4,341	4,154	△ 187	△ 4.3%
経常利益	4,175	3,524	△ 651	△ 15.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,581	2,014	△ 567	△ 21.9%

増収

売上高:機能材料セグメント IT・電子材料用途が顕著に伸長

減益

営業利益:機能材料セグメントが利益貢献も、のれんの償却  
など営業経費が増加



(注) 当連結会計年度より報告セグメントの区分を一部変更しております。当第3四半期連結累計期間まで「界面活性剤」及び「アメニティ材料」セグメントに含めておりましたライフサイエンス事業は、新たに「ライフサイエンス」セグメントとして独立させました。

# 2020年3月期 営業利益増減分析



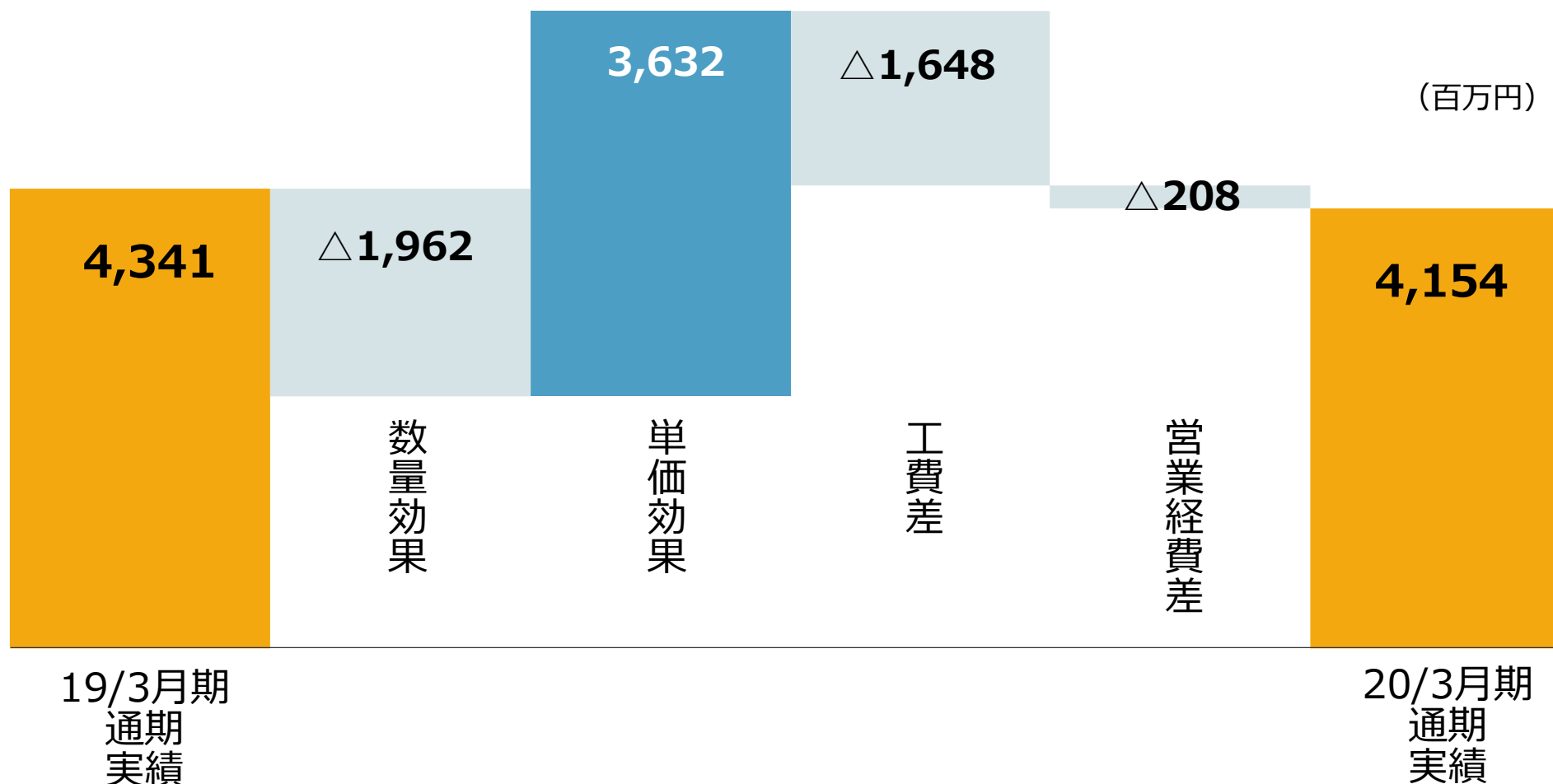
## 連結

\* 界面活性剤およびウレタン材料セグメントの販売数量減

\* 高収益製品の伸長  
\* 一部の採算是正活動による貢献

\* 光硬化樹脂の暫定的生産体制によるコスト増  
\* 連結子会社の工費純増

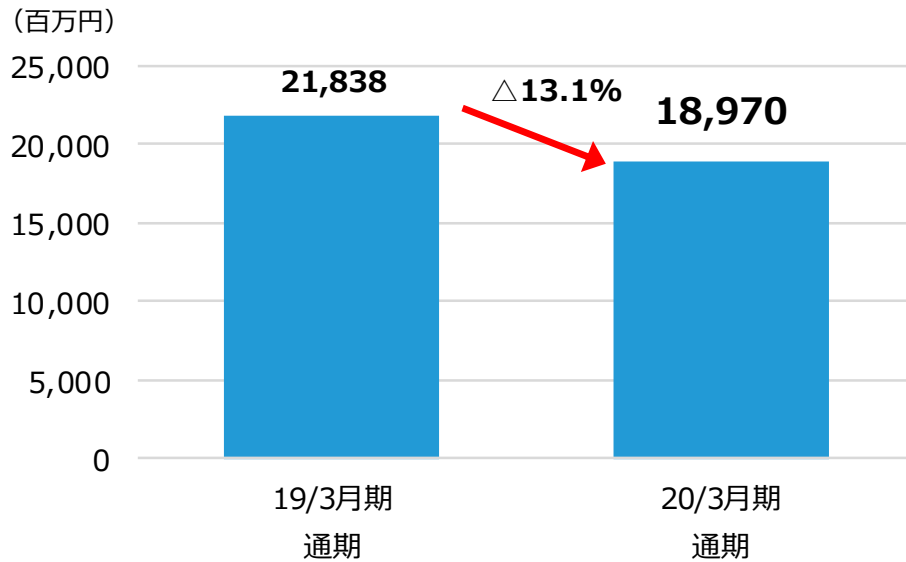
\* 連結子会社の営業経費、のれん償却費の増加



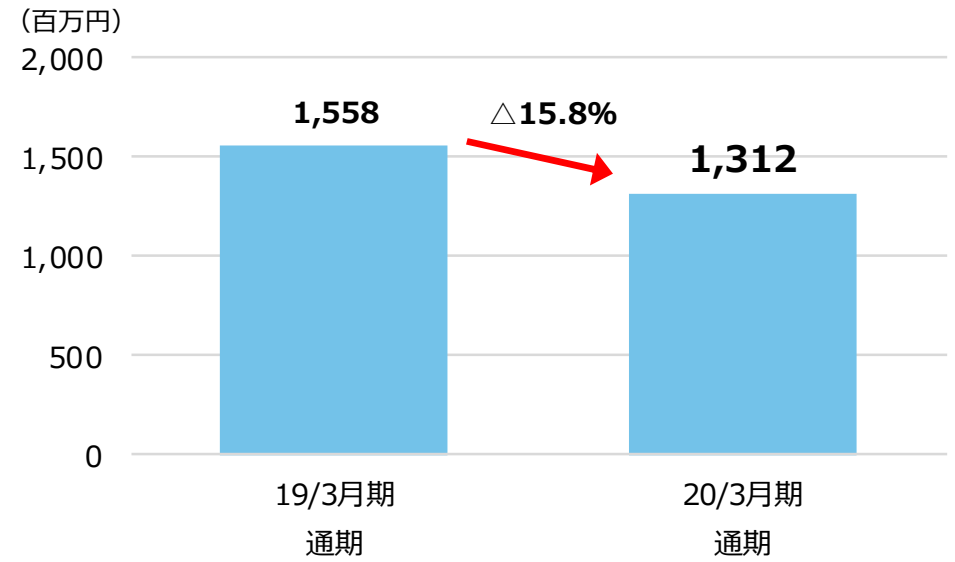
1909年の創業以来、高機能界面活性剤を提供している事業です。

(注) 新セグメントで数値を更新しております。

## 売上高



## 営業利益



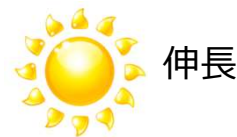
### 売上高：総じて低迷

- IT・電子用途は大幅伸長
- 石鹸・洗剤用途、塗料・色材用途、ゴム・プラ用途、機械・金属用途は低迷

### 営業利益：減益

- 石けん・洗剤用途を中心とした売上高が低迷

### IT・電子材料用途



伸長



### 石けん・洗剤用途



低迷



### 塗料・色材



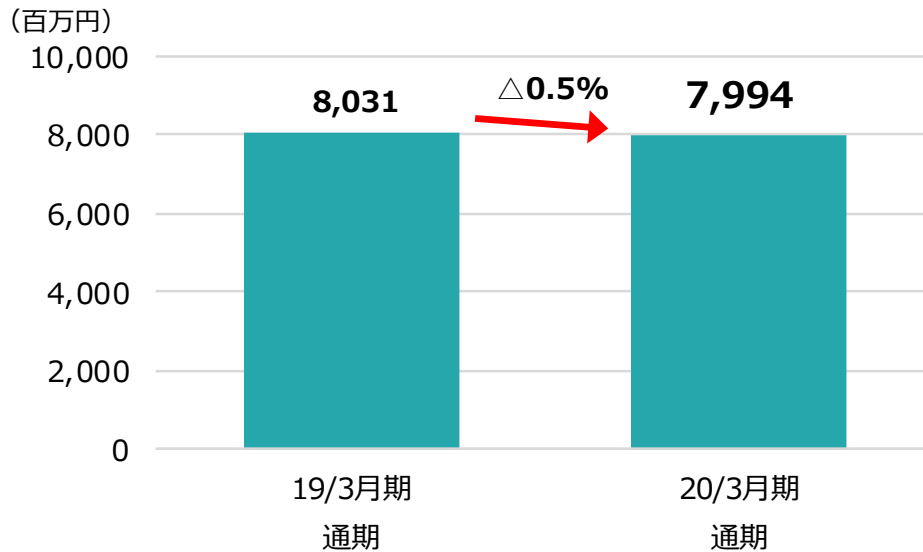
低迷



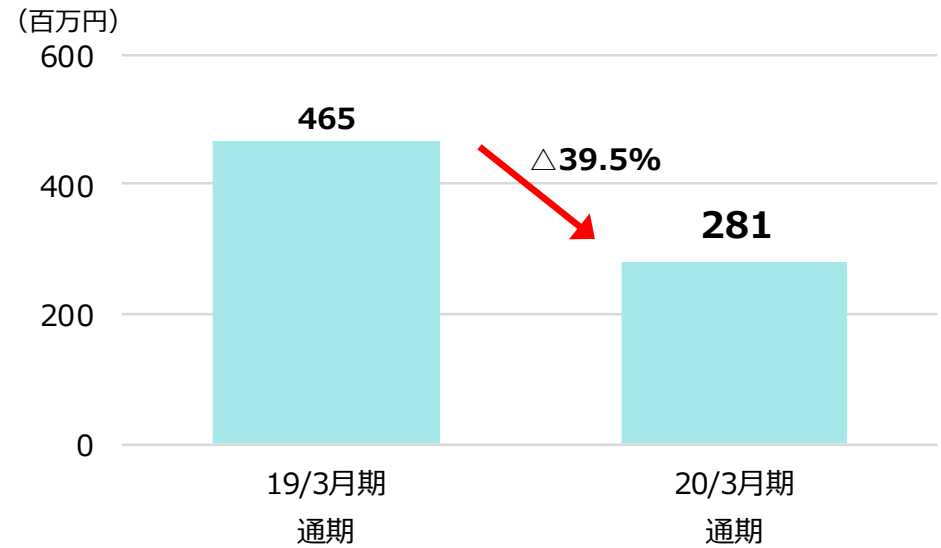
生活環境において快適性を求める材料や周辺応用技術を提供している事業です。

(注) 新セグメントで数値を更新しております。

## 売上高



## 営業利益



### 売上高：総じてやや低調

- ショ糖脂肪酸エステルは食品用途は堅調に推移、化粧品用途はやや低調に推移
- セルローズ系高分子材料は農業・農薬用途が堅調に推移

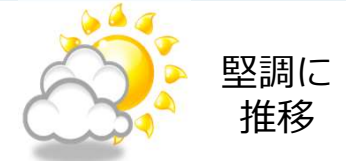
### 営業利益：減益

- 売上高がやや低調に推移
- 営業経費が増加

### 化粧品用途



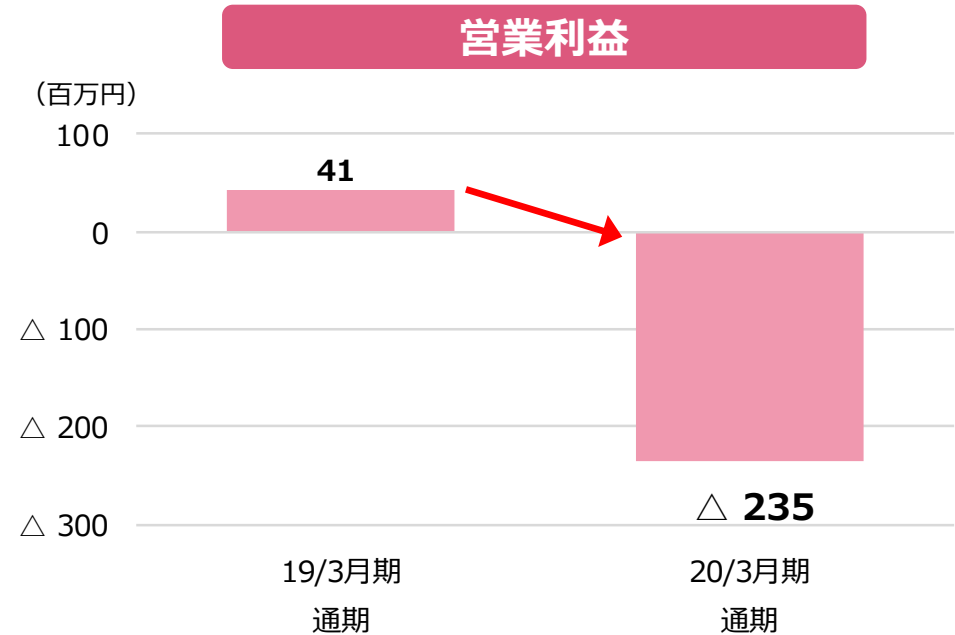
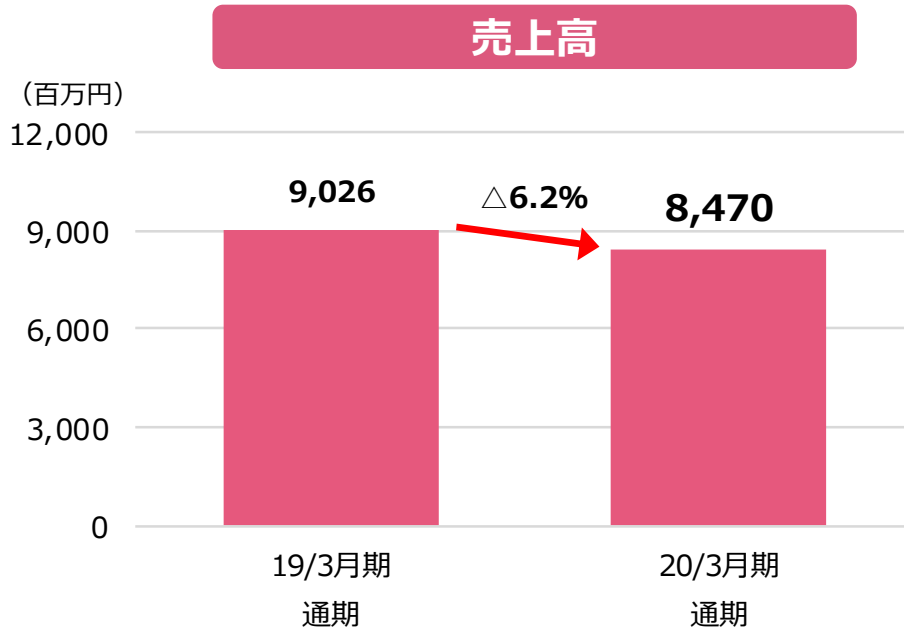
### 食品用途





土木・建築材料、塗料、接着剤、電気絶縁材料などウレタン用原料を提供している事業です。

(注) 新セグメントで数値を更新しております。



#### 売上高：総じて低迷

- 土木用薬剤は好調に推移
- 合成潤滑油、土木・建築用材料は大きく落ち込む

#### 営業利益：営業損失

- 売上高の低迷、新分野の研究開発費用が増加

#### 土木・建築用途



#### 土木用薬剤:岩盤固結

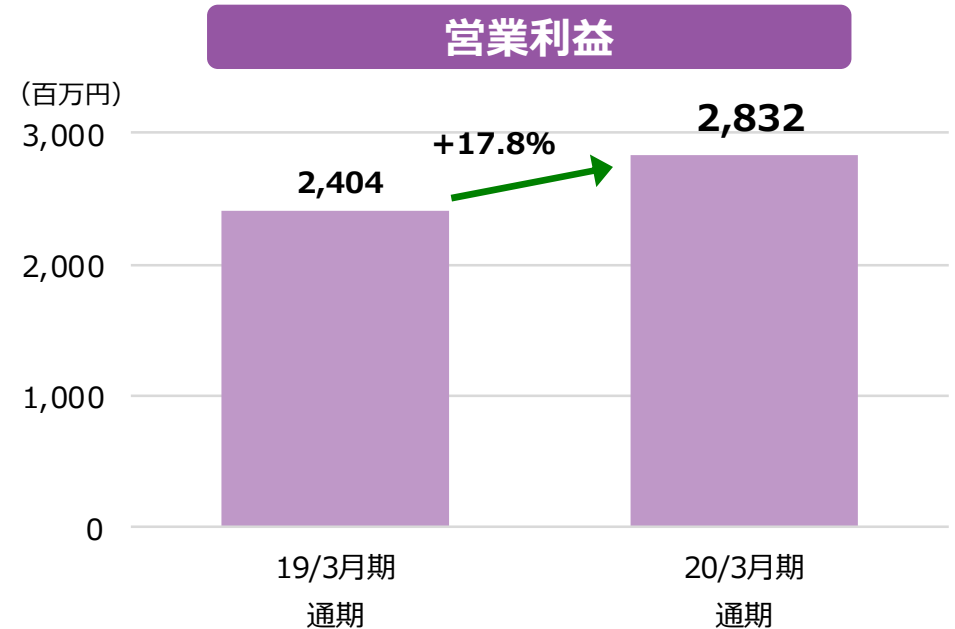
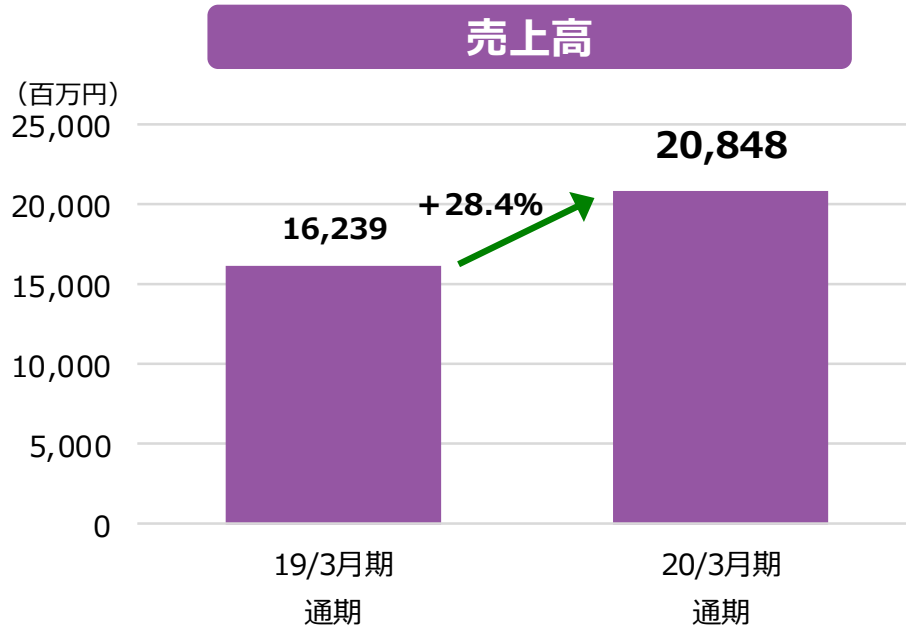


#### 合成潤滑油



家電製品や生活の必需品用途に、難燃剤、光硬化樹脂や水系ウレタン樹脂などの製品を提供している事業です。

(注) 新セグメントで数値を更新しております。



#### 売上高：総じて顕著に伸長

- IT・電子材料用途は国内外とも顕著に伸長
- 難燃剤は国内は堅調、海外は落ち込む

#### 営業利益：増益

- 臭素系難燃剤の原料価格高騰
- IT・電子材料用途の売上高が顕著に伸長

#### 電子材料用途



顕著に伸長



#### プラスチック用難燃剤



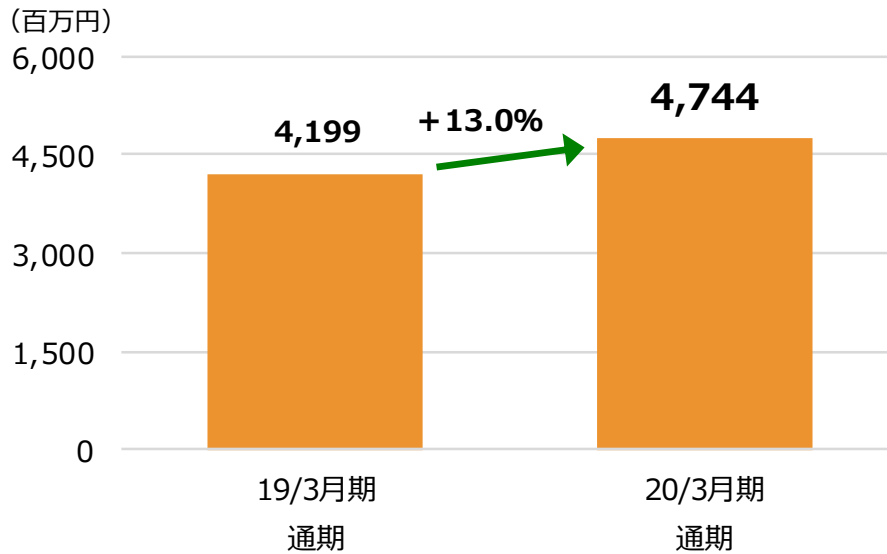
大きく落ち込み



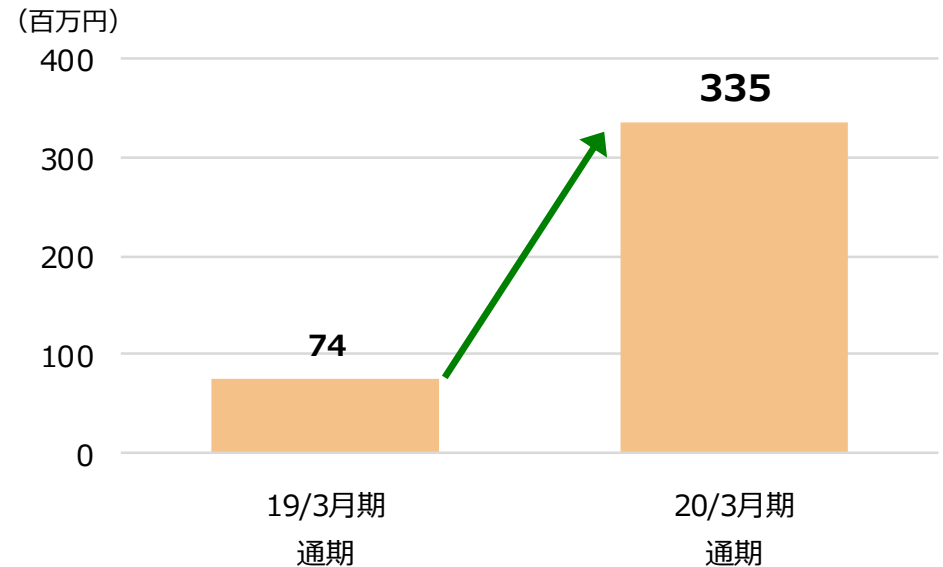
家電や電子部品用途に、セラミックス材料などを提供している事業です。

(注) 新セグメントで数値を更新しております。

## 売上高



## 営業利益



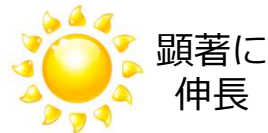
### 売上高：総じて大幅に伸長

- 太陽電池用途の導電性ペーストは大幅に伸長
- ディ스플레이用途のイオン液体が好調に推移

### 営業利益：増益

- 売上高の伸長
- 営業経費の削減

#### 太陽電池用途



#### セラミックス材料用途



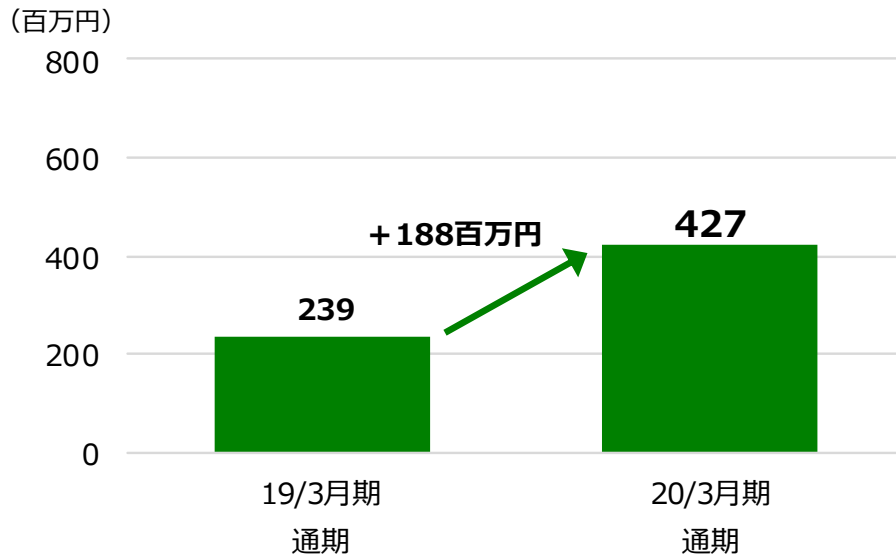
#### ディスプレイ用途



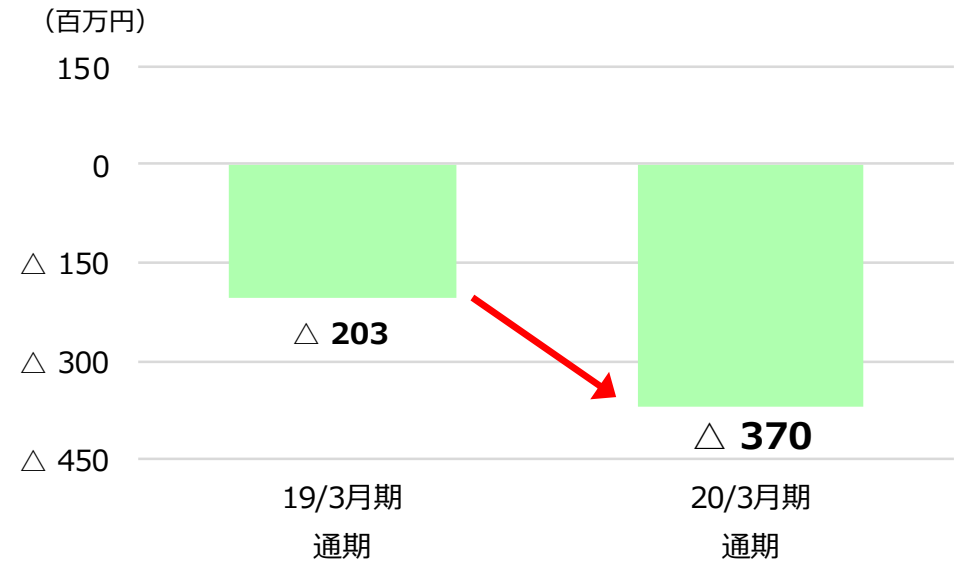
天然由来の健康補助食品、天然物からの抽出・濃縮・粉末化の技術を提供している事業です。

(注) 新セグメントで数値を更新しております。

## 売上高



## 営業利益



### 売上高：堅調に推移

- 冬虫夏草は堅調に推移
- 健康補助食品等の受託事業が伸長

### 営業利益：営業損失

- のれんの償却が利益を圧迫

### 冬虫夏草



利益面で  
低迷



### 健康補助食品等の受託事業



好調に  
推移



単位：百万円

	2019年 3月末	2020年 3月末	増減額		2019年 3月末	2020年 3月末	増減額
流動資産	39,361	42,595	3,234	負債	42,315	47,470	5,155
現預金	7,485	10,336	2,851	仕入債務	12,926	11,386	△ 1,540
売上債権	17,872	17,422	△ 450	有利子負債	24,192	30,711	6,519
たな卸資産	11,938	12,433	495	その他	5,197	5,373	176
その他	2,066	2,404	338	純資産	33,591	34,265	674
固定資産	36,545	39,141	2,596	株主資本	30,998	31,977	979
有形固定資産	29,724	33,274	3,550	その他の包括利益累計額	325	△ 299	△ 624
無形固定資産	1,348	1,130	△ 218	非支配株主持分	2,266	2,587	321
投資・その他の資産	5,472	4,737	△ 735				
合 計	75,906	81,736	5,830	合 計	75,906	81,736	5,830

単位：百万円

	19/3月期 通期	20/3月期 通期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,236	3,766	530
投資活動におけるキャッシュ・フロー	△ 5,694	△ 5,842	△ 148
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,510	4,946	6,456
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 155	△ 21	134
現金及び現金同等物の増減額(△は減少額)	△ 4,123	2,847	6,970
現金及び現金同等物の期末残高	7,278	10,126	2,848

## 健康経営銘柄2020に初選定

健康経営に優れた企業として経済産業省と  
東京証券取引所が共同で取り組む

「健康経営銘柄2020」に初めて選定されました。  
国内全上場企業から30業種40社が選ばれ、  
化学部門からは2社のみです。



### 【健康経営銘柄とは】

経済産業省は、東京証券取引所と共同で、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組む上場企業を「健康経営銘柄」として選定している。長期的な視点から企業価値の向上を重視する投資家にとって魅力ある企業として紹介することを通じ、企業による「健康経営」の取組を促進することを目指している。

2020年3月2日、第6回目となる「健康経営銘柄2020」に30業種40社を選定した。（国内全上場会社（3,776社が対象\*）\*令和元年8月30日時点

## 霞工場に新プラントを建設中

2015年から稼働している三重県四日市市の霞工場では、2019年8月に開始した新プラントの建設工事が行われています。

2020年6月完成を目指し、安全に配慮しながら工事を推進しております。



2020年6月完成予定



三重県四日市市 霞工場



## 第34回ネプコン ジャパンに出展

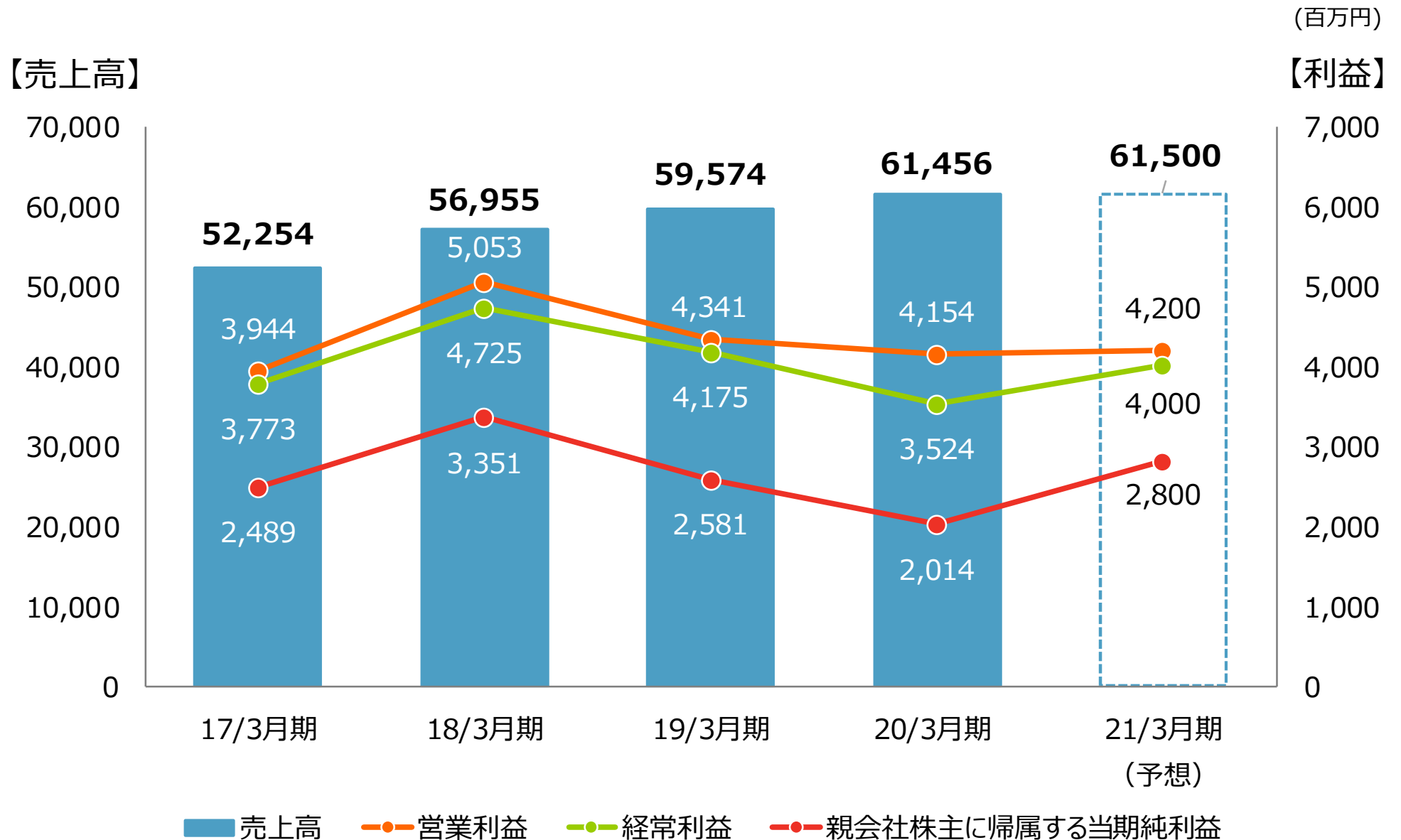
関係会社である晋一化工股份有限公司※は、第34回ネプコン ジャパンに出展しました。テーマは「5Gから6Gへそして未来へ」。日本市場向けに、プリント配線板用の低誘電材料や車載の軽量化に適した材料、そして光学材料である量子ドット印刷インクを展示しました。



2020 1.15~17東京ビッグサイト  
(東京都江東区)

※晋一化工股份有限公司（本社：台湾台北市、董事長：頼宏榮）

## 2. 2021年3月期 業績見込みについて



## 増益要素

1. 中期経営計画「FELIZ 115」の重点施策の遂行
  - ➡採算是正、撤退を含めたポートフォリオの見直し
  - ➡アクチャル事業の利益構造改革
2. インスパイアード・パートナーとの取り組み促進
3. 霞工場第4プラント稼働による増産対応
4. 経費節減

## 減益要素

1. 新型コロナウイルスの影響による市場低迷
2. ライフサイエンス関連などの研究開発費増（将来への投資）

# セグメント別売上高予想



連結

単位：百万円

セグメント	2020年3月期（実績）				2021年3月期（予想）				前期比増減	
	上半期	下半期	通期	構成比（%）	上半期	下半期	通期	構成比（%）	金額	増減率（%）
界面活性剤	9,569	9,401	<b>18,970</b>	30	8,790	9,215	<b>18,005</b>	29	△ 965	△ 5
アメニティ材料	4,012	3,982	<b>7,994</b>	13	3,900	4,095	<b>7,995</b>	13	1	0
ウレタン材料	4,454	4,015	<b>8,470</b>	14	3,950	4,150	<b>8,100</b>	13	△ 370	△ 4
機能材料	10,016	10,832	<b>20,848</b>	34	10,900	11,440	<b>22,340</b>	36	1,492	7
電子デバイス材料	2,161	2,583	<b>4,744</b>	8	2,200	2,320	<b>4,520</b>	7	△ 224	△ 5
ライフサイエンス	186	240	<b>427</b>	1	260	280	<b>540</b>	1	113	26
合計	30,399	31,056	<b>61,456</b>	100	30,000	31,500	<b>61,500</b>	100	44	0

※上記の2020年3月期のセグメントの数値は、前期末から新セグメントに移行したため、通期の数値以外、上期及び下期の数値は公表値ではございません。2021年3月期第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）で開示される数値と異なる可能性があることをご承知おき下さい。

# セグメント別営業利益予想



連結

単位：百万円

セグメント	2020年3月期（実績）				2021年3月期（予想）				前期比増減	
	上半期	下半期	通期	構成比（%）	上半期	下半期	通期	構成比（%）	金額	増減率（%）
界面活性剤	453	858	<b>1,312</b>	32	664	703	<b>1,367</b>	33	<b>55</b>	<b>4</b>
アメニティ材料	94	187	<b>281</b>	7	37	73	<b>110</b>	3	△ <b>171</b>	△ <b>61</b>
ウレタン材料	△ 87	△ 148	△ <b>235</b>	△ 6	△ 127	△ 76	△ <b>203</b>	△ 5	<b>33</b>	△ <b>14</b>
機能材料	1,208	1,623	<b>2,832</b>	68	1,499	1,537	<b>3,036</b>	72	<b>204</b>	<b>7</b>
電子デバイス材料	125	210	<b>335</b>	8	144	164	<b>308</b>	7	△ <b>27</b>	△ <b>8</b>
ライフサイエンス	△ 203	△ 167	△ <b>370</b>	△ 9	△ 217	△ 201	△ <b>418</b>	△ 10	△ <b>48</b>	<b>13</b>
合計	1,590	2,563	<b>4,154</b>	100	2,000	2,200	<b>4,200</b>	100	<b>46</b>	<b>1</b>

※上記の2020年3月期のセグメントの数値は、前期末から新セグメントに移行したため、通期の数値以外、上期及び下期の数値は公表値ではございません。2021年3月期第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）で開示される数値と異なる可能性があることをご承知おき下さい。

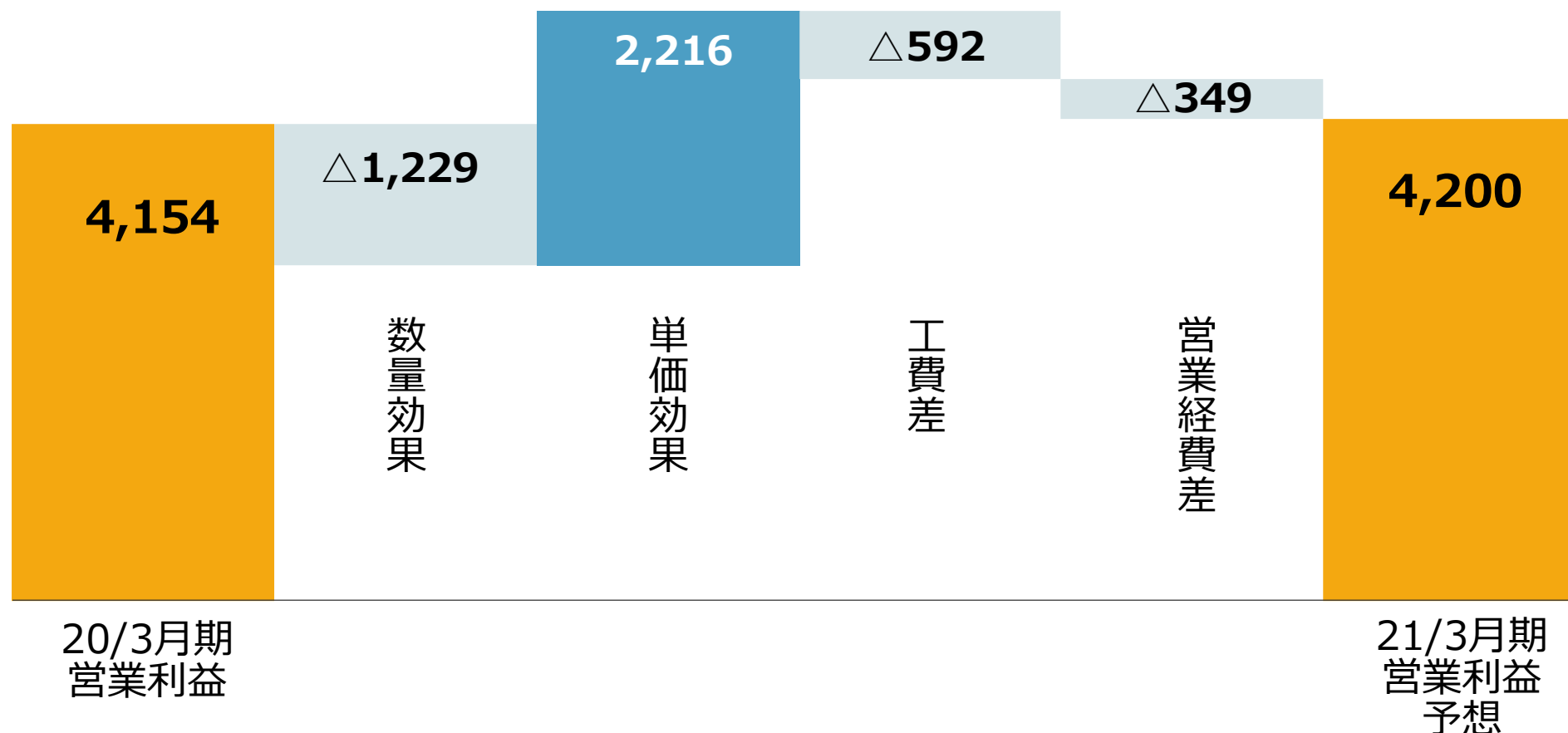
# 2021年3月期 営業利益予想増減分析



連結

- ◆ 新型コロナウイルスの影響による数量減少 など
- ◆ 高収益製品寄与  
◆ 採算是正、  
値上げ効果 など
- ◆ 製造経費増  
◆ 霞第3P償却純増  
◆ 霞第4P償却開始 など
- ◆ ライフサイエンス関連など、  
新規開発の研究  
開発費増 など

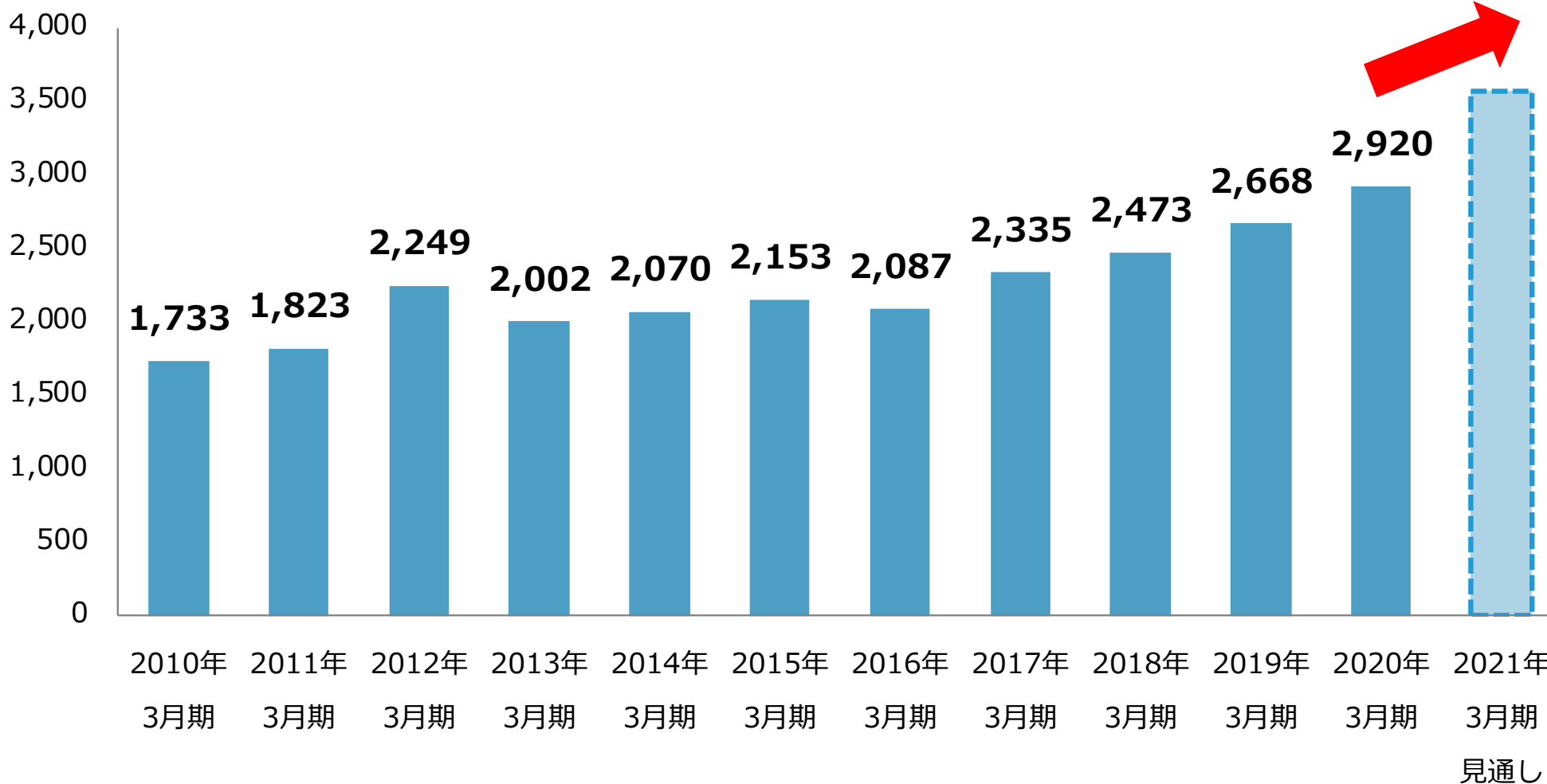
(百万円)



# 減価償却費の推移

連結

(百万円)

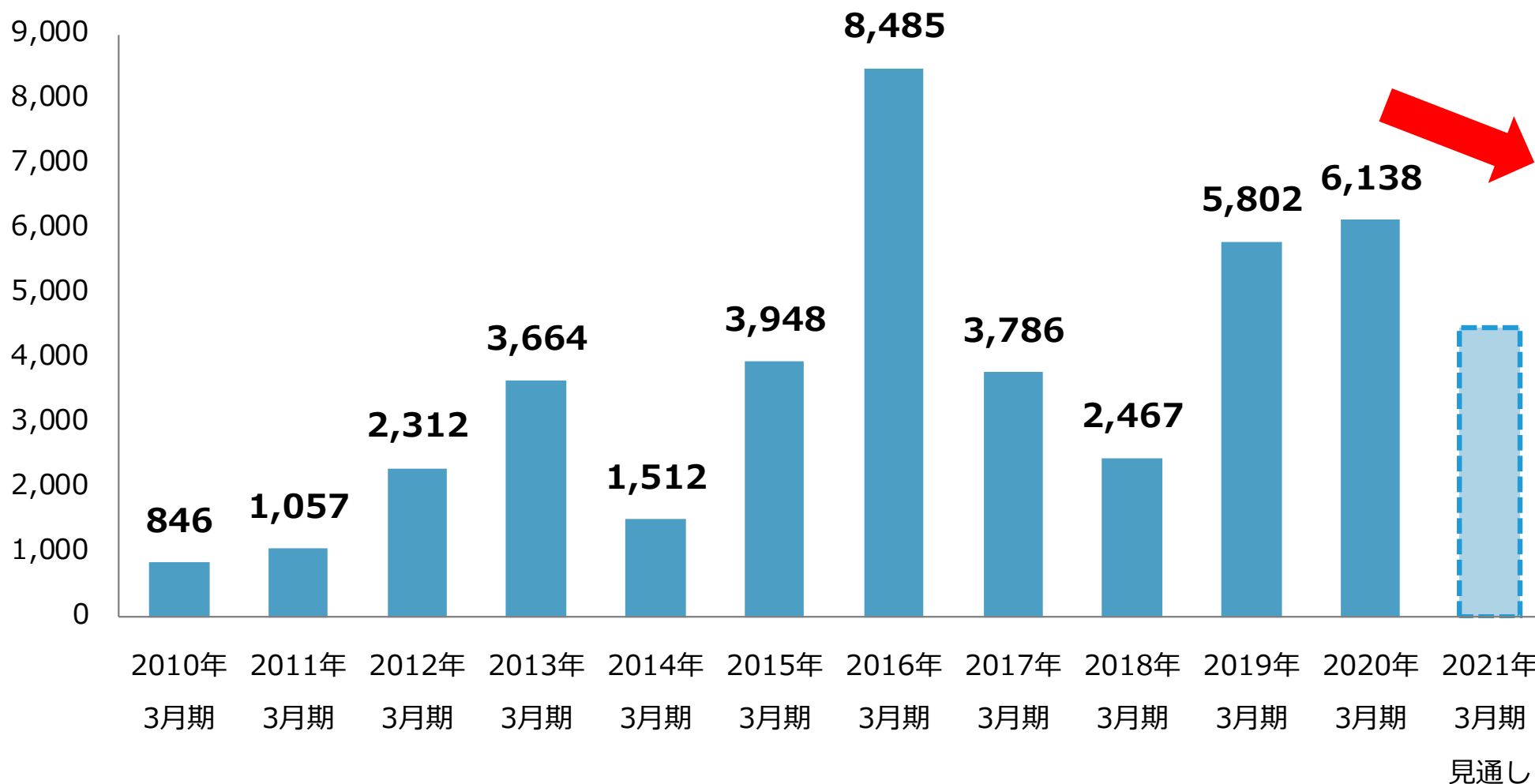




# 設備投資額の推移

連結

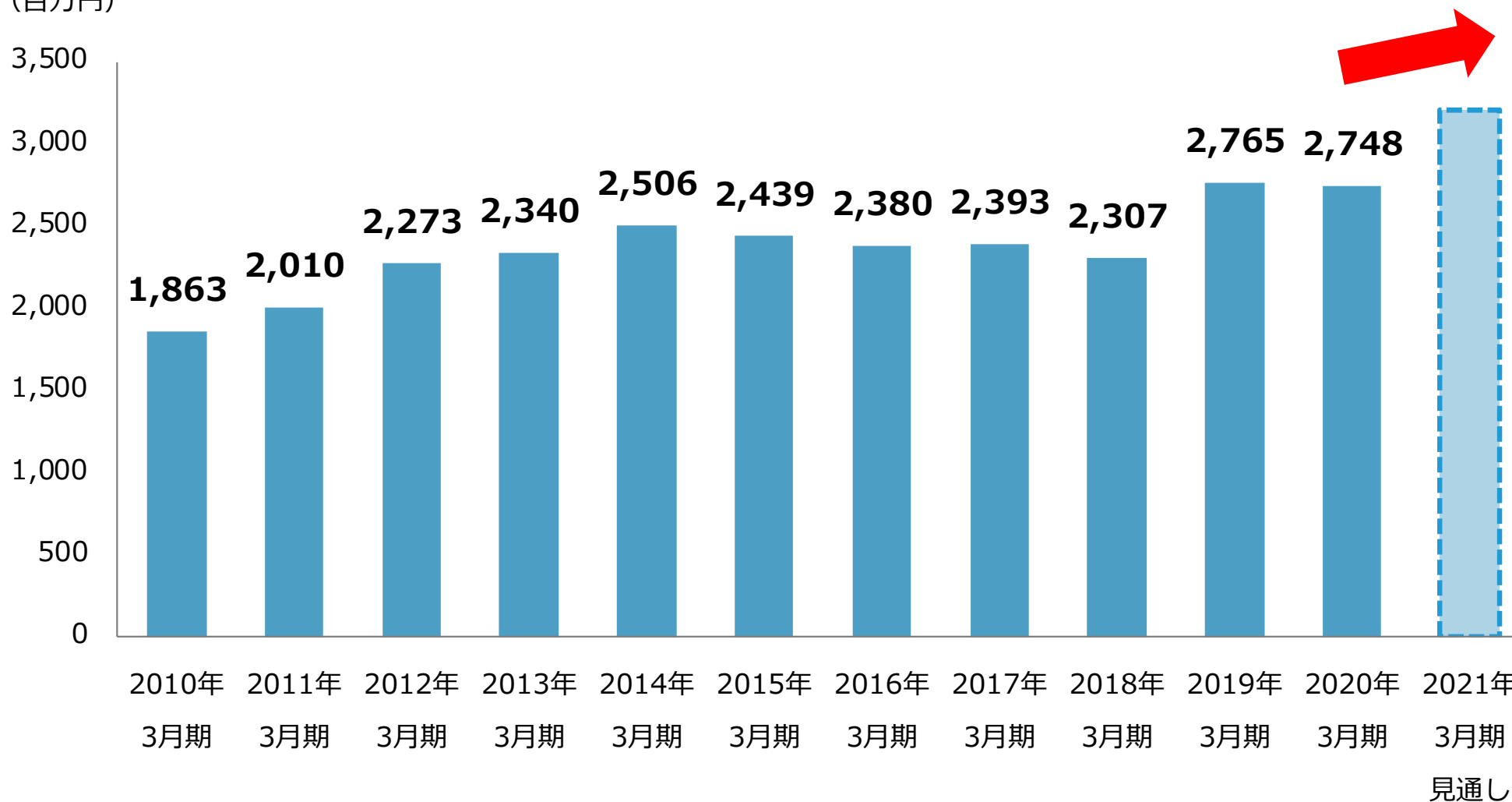
(百万円)



# 研究開発費の推移

連結

(百万円)



この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。

それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画、予測したものであります。

実際の業績などは、今後のさまざまな条件、要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

第一工業製薬株式会社 管理本部 経営戦略部 広報 I R 株式グループ  
TEL: 03-3275-0654 E-mail: d-ir@dks-web.co.jp